ベスト説明
カリフォルニア

	コミュニティ財産	コミュニティ生存権のある財産	ジョイントテナン	共通のテナンシー	パートナーシッ	信頼
パーティー	夫と妻または国内のパートナー。	夫と妻または国内のパートナー。	任意の数の人（夫と妻または国内のパートナーになることができます）。	何人でも。	任意の数のパートナー。	信託の任意の受益者。
利害関係の分割	等しい。	等しい。	等しい。	利害関係の数、等しい、または等しくない。	パートナーシップの利害は、等しくても等しくなくてもかまいません。	信頼に基づく受益権は、等しい場合もあれば、等しくない場合もあります。
タイトル	個人所有者の名前で。	個人所有者の名前で。	個人所有者の名前で。	個人所有者の名前で。	パートナーシップの名の下に。	「受託者として」の受託者の名において。
所有権	所有の平等な権利。	所有の平等な権利。	所有の平等な権利。	所有の平等な権利。	パートナーシップ契約によると。	信託合意によると。
コンプライアン	両方の配偶者は、乗り物に参加する必要があります。	両方の配偶者は、乗り物に参加する必要があります。	1人の共同所有者による転送は、共同テナントを壊します。	各共同所有者の関心は個別に伝えられる場合があります。	パートナーシップ契約によって承認された一般的なパートナーは伝えることができます。	受託者は、信託契約に従って譲渡することができます。
死	子孫は配偶者の1/2の利子を被相続人の財産に渡します。	子孫の1/2インタレストが生存者に渡されます。	子孫の関心は生存者に渡されます。	子孫の関心が子孫の財産に渡る	パートナーシップ契約は、パートナーシップの終了または継続を規定しています。	信託契約は通常、入植者の死後の分配を規定しています。
後継者状態	deviseeと生存者の結果の共通のテナンシー。	生存者はすべての利益を所有します。	最後の生存者は完全に興味を持っています。	考案者または相続人は共通のテナントになります。	相続人またはデビゼーは、パートナーシップの利益において権利を有しますが、特定の財産においては権利を有しません	信託契約は通常、入植者の死後の分配を規定しています。
クレジット権利	コミュニティの財産は、結婚前または結婚中または国内のパートナーシップの間に発生した配偶者の借金に対して責任があります。	コミュニティの財産は、結婚前または結婚中または国内のパートナーシップの間に発生した配偶者の借金に対して責任があります。	共同所有者の利害は、共同所有者の判決債権者を満足させるための執行売却で売却される場合があります。	共同所有者の利害は、共同所有者の判決債権者を満足させるための執行売却で売却される場合があります。	パートナーの判決債権者が実行できるのは、パートナーの利益を受け取る権利のみです。	通常、債権者は受益者の利益のために実行することはできません。

このチャートは参照用です。タイトルがどのように付与されるかは重要な法的影響を及ぼします。このチャートは、その決定を下すために信頼されるべきではありません。特定の状況で最も有利な所有形態を判断するには、弁護士に相談する必要があります。弁護士でない人は、権利を保持する方法についてアドバイスを与えることができません。そうすることは、違法な法律慣行となるためです（03/08 TR）。情報は州によって異なる場合があります。

PROVIDENT TITLE COMPANY

www.ProvidentTitle.com